

ワーキンググループにおける検討状況の中間報告について（H23.7～H24.1）

資料1

	メンバー	第1回	第2回	第3回	第4回
対象者のあり方 (ワーキングA)	大阪市 池田市 貝塚市 藤井寺市 忠岡町 大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者のあり方検討に要する必要データの調査範囲について検討。 ※調査は、研究会メンバー市町に協力依頼。 ○ 乳幼児医療費助成制度を取り巻く現状と課題を踏まえ、対象年齢のあり方について、国の子育て世帯の負担軽減策も参考に検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者医療費助成制度を取り巻く現状と課題を踏まえ、障がい種別に応じて対象者のあり方について検討。 ○ 自立支援法や障がい者総合福祉法（仮称）の動向を踏まえれば、対象範囲の拡充も検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制度を取り巻く現状や所得状況調査の結果を踏まえ、対象者の所得制限のあり方について検討。 ○ 医療のセーフティネットとしての経済的支援という観点からは、一定の所得制限の設定は必要であるが、各医療費助成制度によって、所得制限額にばらつきが生じている現状を踏まえ検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの検討を踏まえ、対象者のあり方に係るその他の事項や新たに生じる課題等について検討。 ○ 制度間に通じる整合を図ることも検討すべきではないか。
	給付と負担のあり方 (ワーキングB)	大阪市 岸和田市 寝屋川市 能勢町 河南町 大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な制度としていくため、給付と負担のあり方に係る現状の分析や課題の洗い出し。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各市町村月報から各医療費助成制度対象者の給付と負担の状況を分析。 ○ 現状を踏まえ、制度の給付方式（現行の定額負担での受診や償還払い）について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現行制度での負担状況を踏まえ、負担のあり方として、定額負担や定率負担、負担上限等について検討。 ○ 医療ニーズ等が異なるため、医療費助成制度によっては配慮を検討すべきではないか。